

# 全国が注目！春日井市のICT活用教育

AIの進化など社会が急速に変化し、将来の予測が難しい現代社会において、子どもたちが未来を生き抜くためには、「生涯にわたって自ら学び続けられる力」が不可欠です。

春日井市内の小中学校では、この力を育むため、「1人1台端末」や「クラウド環境」を日常的に活用した、新しい教育の推進に取り組んでいます。

【ICT活用教育】…パソコンやタブレット端末などのデジタル機器や、インターネットやクラウドサービスなどの「情報通信技術（ICT）」を授業や学習に役立てる教育

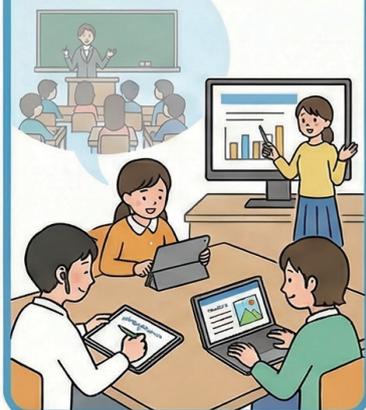


市ホームページ  
(ICTを活用した  
教育の推進)

## ICTの活用による春日井市の新しい学び

### 個別最適な学び

#### 「自ら学ぶ」授業へ



子どもたちが自ら調べ、考え、表現する活動時間が大幅に増加し、アウトプットの量と質が向上！

### 協働的な学び

#### 先生だけじゃない、友だちからも学ぶ



クラウド上で友だちの考えなどをリアルタイムで共有し、多様な視点に触れることで、思考の質が向上！

### 「複線型」の授業

#### 1人ひとりのペースで学びが進む



1人でじっくり考えたり、友だちと協力したり、先生に相談したりと、自分のペースに合った学びが可能に！

## 生涯にわたって自ら学び続けられる子どもの育成

### Topics!!

#### ① 「日本ICT教育アワード」3年連続で賞を受賞！

春日井市のICT活用教育の取組みは、全国的にも高い評価を得ています。

第6回（令和5年度）：全国ICT教育首長協議会会長賞受賞

第7回（令和6年度）：文部科学大臣賞受賞

第8回（令和7年度）：全国ICT教育首長協議会優秀賞受賞

〈評価のポイント〉長年にわたるICT活用教育の推進  
最先端のICT活用教育の実践



第7回受賞の様子

#### ② 全自治体の中で行政視察受け入れ件数トップ！

※日経BP調べ

春日井市の先進的なICT活用教育の取組みを学ぶため、令和6年度は324件もの視察があり、なんと全国の自治体トップの受け入れ件数を記録しました！

# ◆◆◆春日井市の先進的なICT活用教育の取り組み◆◆◆

※令和8年2月時点の情報



春日井市では、文部科学省から「研究開発学校」や「リーディングDXスクール」の指定を受けた小中学校が、個別最適な学び・協働的な学び・情報活用能力（調べる・まとめる・発表する）の育成のための先進的な取り組みを進めています。ICT活用教育のさらなる推進に向けて、その成果を市内全校で実現するための支援にも取り組んでいます。

## 研究開発学校

現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程、指導方法などについて4年間にわたり研究開発を行う制度です。春日井市は令和4年度に指定を受けた**2校（出川小、高森台中）**が、**情報活用能力を小中一貫のカリキュラムで体系的に育成するための「情報の時間」の創設**に取り組んでいます。



研究開発学校

過去2年に行った研究発表会では、全国から多くの教員や教育関係者に参加していただきました！

【令和6年度】約800人 【令和7年度】約850人



リーディングDXスクール

## リーディングDXスクール

1人1台端末やクラウド環境を最大限に活用した効果的な教育実践事例の創出のため、全国の小中高等学校約200校が指定を受けています。県内では4市が指定を受ける中、春日井市は、**県内最多の6校（中央台小、出川小、藤山台小、坂下中、高森台中、藤山台中）**が指定を受け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、最先端の教育の実践に取り組んでいます。

## 生成AIパイロット校

生成AIを活用した効果的な教育実践事例の創出のため、教育活動や校務において生成AIの活用に取り組む学校が生成AIパイロット校として、文部科学省から指定を受けています。春日井市は、**3校（出川小、藤山台中、高森台中）**が指定を受けて実践に取り組んでいます。



生成AI活用

